

ともに生きる 共生



ハートネットTV

障害者殺傷事件から半年

次郎は「次郎という仕事」をしている

放送日:2017年1月26日 放送時間:29分

対象校種 中学校 高校

対象教科 道徳 学級活動

この番組の良さ



● 相模原殺傷事件が残したもの

2016年に起きた相模原障害者施設殺傷事件、事件を起こした被告の考え方は社会に大きな課題を突き付けました。人間の命の重さに違いはあるのか?命の平等性が語られる一方で、差別や偏見が渦巻く現代社会。私たち1人1人の「生きる意味」について考えさせられる番組です。

● 次郎さんの仕事を体感できる

家族をはじめ、多くの人々の価値観に影響を与えている次郎さん。番組を視聴することで、次郎さんの明るさや素直さ、人を信じる心に触れることができます。そして、番組では視聴者自身も次郎さんの仕事を体感します。信じる気持ち、助け合う心、人と関わる大切さなど、私たちそれぞれが次郎さんから大切なものを受け取ったことに気づくことができます。

番組活用のポイント

● 共生社会に必要な価値観を考える

次郎さんの母親は言います。「次郎は『次郎という仕事』をしている」。次郎さんは言葉によるコミュニケーションが出来ません。当初、番組キャスターは次郎さんとコミュニケーションが取れないのではないかと不安に感じていました。しかし、次郎さんと行動を共にする中で、不安は解消し、自然にコミュニケーションを取っている自分に気づきます。

地域の人たちに囲まれながら生き生きと生活する次郎さんの姿を視聴する中で、私たちが忘れがちな人と人との関係を作る根源的なものについて考えることができます。障害の有無に関わらない「信頼」や「思いやり」の大切さ、「できない」ということが実は社会の成熟にとって必要であることなど、共生社会にとって必要な価値観を次郎さんが教えてくれます。「次郎という仕事」とは何か、私たち1人1人がそれぞれの答えを持ち、話し合うことで考えを深めることができます。

● 関わることから見えてくる

障害のある人との関わりは人によって差があります。教室内には、家族に重い障害のある生徒がいるかもしれませんが、全く関わったことのない生徒もいるかもしれません。番組を視聴することで、「次郎さん」と関わるという経験を共有することができます。次郎さんの行動を考察する中で、その思いを想像し、コミュニケーションの取り方について話し合うことができます。人を理解するために大切なのは関わること、そして関わろうとすることです。障害のある人と関わる中で、「戸惑い」は「その人らしさ」を知る喜びに変わります。

ティーチャーズ・ライブラリーでは、他にも相模原障害者施設殺傷事件について制作された番組を扱っています。人と関わることの大切さについて異なる切り口から学ぶことで、より深い学びに繋げることができるでしょう。



執筆者

向日市立寺戸中学校


教諭 鈴木英太

学習展開例

対象校種 中学校 高校 対象教科 道徳 学級活動

差別や偏見のない世の中を作るためには

【授業時間 50分】 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>関わったことがない</p> <p>障害種別、程度について</p> <p>優しいと思う 怖いと思う</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>身近に障害のある人がいる</p> <p>地域での生活について</p> <p>緊張する 不安に感じる</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">施設でボランティアをしたことがある</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「次郎という仕事」って何だろう？</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>福祉施設</p> <p>作業所</p> <p>家の手伝い</p> <p>存在自体</p> </div> <p style="text-align: center;">「次郎という仕事」の意味が知りたい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p style="text-align: center;">部分視聴 (18分05秒) 地域でお弁当を買っている場面</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>信頼</p> <p>安心感</p> <p>関わり</p> <p>助け合い</p> <p>お互い様</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>「次郎という仕事」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>人を優しくする 地域に笑顔を作る 差別をなくす 関わることの大切さを伝える 助け合いの精神を作る</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>次郎さんは「次郎という仕事」をしていた。それは地域で人を信頼し、少しの支援を受けながら、人と関わることや助け合うことの大切さを伝えることであり、社会の成熟にとって必要なことであった。</p> </div> <p>障害の有無に関わらず、誰にでもできないことがあり、助け合うことでお互いに成長する。次郎さんのように、差別や偏見のない世の中を作る行動をしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人と関わった経験(いつ、どんな場面で、その時思ったこと)について聞く。 ・相模原障害者施設殺傷事件について説明し、被告の行為が絶対に許されないことを確認した上で、障害の有無で人を判断することについて問う。 ・番組で登場する「次郎さん」が言葉でコミュニケーションできないことを伝えた上で、番組冒頭で紹介されている次郎さんの母親が言う「次郎という仕事」とは何か聞く。 ・番組を視聴しながら、障害のある人との関わりの中で大切だと感じたことについてメモをとるように助言する。 ・番組を視聴しながら次郎さんが地域で生き生きと生活している要因について考え、その後グループで交流、発表する場を設定する。 ・「次郎という仕事」とは何か考え、その理由を聞き、交流する。 ・授業を通して、考えたことや価値観の変容、改めて大切だと思ったことをノートに書き、話し合う場を設定する。 <p>【思考・判断・表現】 次郎さんの地域での生活に触れることで、人が生きることの価値について考えることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人と関わる中で、相手を理解しようとするのが自分の価値観を変え、差別や偏見をなくすことにつながることに着目できるようにする。